

常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【7月8月度の御金言】諸僧謗法の者たるゆへに、謀反の者を知らずしてやどしたるがごとく、不孝の者に契りなせるがごとく、今生には災難を招き、後生も悪道に堕ち候べきを扶けんとする身なり。

【諫曉八幡抄】（全集 585 頁）

法華講信条

- 1, 謗法厳戒の信仰を貫こう。（信心）
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。（行学）
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇氣を持とう。（破邪顕正）
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。（示教利喜）
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991 年 2 月 13 日 掲揚

☆ 行学絶へなば仏法はあるべからず。（行学）

日蓮大聖人の法は、森羅万象一切衆生の永遠常住の生命と平等成仏を説いています。パソコンでユーチューブ映像を見ていましたら、浄土真宗親鸞会講師の渡辺隆志という人の講演があったので、何本か視聴しました。すると、その中で、南無阿弥陀仏は經典に載っている釈尊の言葉だが、南無妙法蓮華經は日蓮が勝手に作った造語だと支離滅裂な事を話していました。ひょっとして、こういうものを視聴した人達が鵜呑みしたらいけないので、【行学絶えなば仏法はあるべからず】なので、明らかにしておこうと思います。皆さん方は百も承知の事です、法華經の本当の題名は【妙法蓮華經】なんです。つまり【妙法蓮華經方便品第二】【妙法蓮華經壽量品第十六】が正真正銘の名前であります。【法華經】という名称は、八万四千の一切經の最後に一切衆生平等成仏の法を蓮華が咲く様に明かした事から、法の華の經と愛称され【法華經】と呼ばれているのであります。この正式名の【妙法蓮華經】の内容を帰依帰命して法華經の行者として信行を貫く、勿論、法華經の中には、【南無妙法蓮華經】の文字は無く【妙法蓮華經】ですが、日蓮大聖人は、法華經の行者として【妙法蓮華經】に【南無】する生き方こそが成仏の唯一の道であることを【南無妙法蓮華經】の御題目【南無妙法蓮華經】の文字本尊に示されたのであります。思いつきの造語では無く、【妙法蓮華經】の法華經に対する【南無】の法華經の行者として真剣な志が【南無妙法蓮華經】の御題目に表わされているのであります。嘘八百でも、それなりの肩書き身なりをしているだけでその人のいう事を信じてしまう人が世間には沢山いるのであります。噂で暴動が起こることさえあるわけですから、人間の心ほど付和雷同で流されやすいものはないのであります。この様に、毎日生活していると、信心を揺さぶる様な、疑い、動揺を起こさせるような事に触れる事があります。その時に普段からの行学が積まれていないと、疑い、不信、懈怠、退転となって行ってしまうのであります。

行学が無いと、自分の信心もあやうくなり、縁する人々に日蓮大聖人の法を説明し伝える事も、自分自身が何故信心しているのかを自覚する事も出来ません。どうか、毎日毎日常に行学を大切にしたい信心をして下さい。信ずる喜びが湧く事を感じます。